

基本理念

スポーツでひろがる“しあわせ実感ふくい”

スポーツの力を最大限活用し、スポーツを通じて県民誰もが夢や感動を共有し人生を豊かにし、しあわせを実感できる社会を目指します。

策定の趣旨

- 平成25年に策定した「福井県スポーツ推進計画」の第2次推進期間が令和6年度で終期を迎えるため、これまでの理念を継承しつつ、本県の取り巻く現状および国の「第3期スポーツ基本計画」を踏まえて策定します。
- 本県の今後のスポーツ振興の方向性および具体的施策等を取りまとめ、県内関係機関や市町などと連携・協働しながら総合的・計画的に推進するために策定するものです。

計画期間

令和7年度～令和11年度(5年間)

策定の背景

- 福井県の総人口の減少や少子高齢化の進展に伴うスポーツ人口減少への懸念
- 北陸新幹線が開業し本県の交流人口を拡大させ知名度を高める千載一遇のチャンス到来
- デジタル化の急速な進展に伴うデジタルトランスフォーメーションの進展
- スポーツの力(価値)を活かしたSDGsの達成や共生社会の実現 など

位置づけ

- スポーツ基本法第10条第1項による「地方スポーツ推進計画」
- 福井県長期ビジョンの分野別計画

目指す姿

I

生涯現役！スポーツと暮らす ふくい

県民の誰もが、全てのライフステージにおいて、切れ目なく、それぞれの体力やライフスタイル、興味や関心に応じて「生涯現役」でスポーツに親しみ、「1県民1スポーツ」が根付いた福井を目指します。

基本方針

1

全世代の日常にスポーツを

～ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の推進～

目指す姿

II

世界へ！トップアスリートの聖地 ふくい

ジュニアから成年までの選手発掘・育成・強化、UIターン推進など、選手強化サイクルを構築し、全国や世界で活躍するアスリートが福井から育ち、県民に夢や感動を届ける、アスリートの「聖地」となる福井を目指します。

基本方針

2

チームふくいでアスリートの頂点へ

～国民スポーツ大会や国際大会等で活躍する選手の発掘・育成・強化～

目指す姿

III

楽しもう！スポーツ エンタメ ふくい

北陸新幹線開業を契機に、スポーツが持つ楽しさを通じて福井ならではのスポーツ「エンタメ」の醸成を図り、交流人口を拡大して地域を活性化させ、元気あふれる福井を目指します。

基本方針

3

スポーツでワクワクドキドキを

～福井ならではの地域特性を活かしたスポーツ交流の推進～

目指す姿

IV

広がる！スポーツの舞台 ふくい

県民が主体的にスポーツに参画するための基盤を整え、スポーツの魅力を県民の誰もがもっと身近に感じ、スポーツの「する」「みる」「ささえる」環境(「舞台」)の充実化を目指します。

基本方針

4

スポーツの魅力をもっと身近へ

～誰もがスポーツに参画できる「場づくり」の整備・充実～

ふくい しあわせUP！スポーツプラン ～第2期福井県スポーツ推進計画～ 【概要案】

基本方針
1

全世代の日常にスポーツを
～ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の推進～

基本施策	主な施策
県民総スポーツの機会づくり	⑥スポーツ指導者派遣によるスポーツ参加の促進 ○「県民スポーツ祭」など年間を通じてスポーツを楽しむ機会の充実 ○スポーツ・文化体験交流イベント「スポカルFUKUI」の継続的な開催 など
スポーツを通じた共生社会の実現	⑥障がいの有無を超えたインクルーシブスポーツ大会の開催 ⑥誰もが一緒に交流を深める「福井しあわせパラ☆スポーツデー」の開催 ○パラスポーツ出前講座の開催 など
スポーツによる健康づくりの推進	⑥働き盛り世代向け職場エクササイズの推進 ⑥スポーツ指導者派遣による運動習慣定着化サポート ⑥歩いて健康維持・改善 など
子どものスポーツ活動の充実・豊かな心と健やかな体の育成	⑥幼児の運動遊びボトムアップ支援 ⑥持続可能な形でスポーツ活動の充実 ○運動に対する愛好的な態度を養う体育授業の推進 など
働き盛り子育て世代・女性のスポーツ機会の創出	⑥親子で参加できるスポーツイベント機会の創出 ⑥軽運動をフックとした働き盛り子育て世代・女性への運動習慣化サポート ⑥ふくい女性活躍推進企業へのスポーツ活動の支援 など
シニア世代のスポーツ活動の充実	⑥高齢者サークル活動等へのスポーツ指導者派遣による楽しみの提供 ○ふくい健康長寿祭の開催や全国健康福祉祭(ねんりんピック)への参加支援 ○フレイル、認知症予防のための体操や運動の推進 など
パラスポーツの普及拡大	⑥特別支援学校等と連携した新たなパラアスリートの発掘 ⑥パラスポーツ指導員のスキルアップ支援 ○障がい者のスポーツ参加の促進(体験教室の開催) など

施策目標 指標	R5年度 現状	R11年度 目標
成人の週1回以上運動・スポーツ実施率 (スポーツに関する県民意識調査:福井県 ※無作為抽出)	48.7%	60.0%
運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合 (体力・運動能力調査:スポーツ庁/運動習慣等調査:福井県)	(R6年度) 小5:91.3% 中2:86.2% 高2:83.5%	90%維持 90% 90%
20～30代女性の週1回以上運動・スポーツ実施率 (スポーツに関する県民意識調査:福井県 ※無作為抽出)	19.0%	30.0%

基本方針
2

チームふくいでアスリートの頂点へ
～国民スポーツ大会や国際大会等で活躍する選手の発掘・育成・強化～

基本施策	主な施策
ジュニア世代の発掘・育成・強化	⑥県選抜チームによる選手強化およびジュニアクラブへの活動支援 ○優秀な地域クラブチームへの活動支援 ○自分に適した競技を知る合同競技体験会の開催 ○「ふくいジュニアアスリートアカデミー(FJAA)」による有望選手の発掘・育成
トップアスリートの競技活動支援・UIターン推進	○県外の強豪校から高校生トップアスリートの確保 ○有力な成年選手を「スポジョブふくい」で確保 ○ふるさと選手制度の積極的な活用 ○企業チーム・クラブチームへの活動支援 など
持続可能な指導体制の構築	⑥公認スポーツ指導者資格の取得促進 ○スーパーアドバイザーの配置による選手指導および指導者への指導 ○質の高い指導者の養成 など
クリーンでフェアなスポーツの推進	○競技団体等の組織強化 ○あらゆる暴力等の根絶に向けた指導者の資質向上 ○ドーピング防止に関する啓発活動
スポーツ医・科学サポートの積極的活用	○選手の健康管理およびスポーツ障害、外傷の診断・治療・予防 ○メディカルチェック等による選手のコンディショニングサポート ○アスレティックトレーナー等の育成促進 など
トップパラアスリートの発掘・育成・強化	⑥パラリンピックや世界選手権大会等で活躍できるパラアスリートへの活動支援 ○全国障害者スポーツ大会出場を目指すアスリートやチームの活動支援 など

施策目標 指標	R5年度 現状	R11年度 目標
ジュニアアスリートアカデミー受講者の全国大会出場者数(延べ人数)	累計 28人 (R1～R5)	累計 30人 (R7～R11)
「スポジョブふくい」でのUIターン就職者数	年間 24人	年間 30人
公認スポーツ指導者新規登録者数(コーチ1～4)	年間 62人	年間 100人

ふくい しあわせUP！スポーツプラン ～第2期福井県スポーツ推進計画～ 【概要案】

基本方針 3

スポーツでワクワクドキドキを

～福井ならではの地域特性を活かしたスポーツ交流の推進～

基本施策	主な施策
地域スポーツコミッションを軸とした福井ならではのスポーツツーリズムの推進	⑤嶺南地域等でのサイクリングイベントなどの福井の豊かな自然を活用したアウトドアスポーツや手軽に楽しめるアーバンスポーツ等、幅広いスポーツの推進 ⑤地域に根ざした大会やイベントを運営する地域人材の育成 ⑤福井独自のスポーツの「楽しみ」を応援する支援体制の充実 ⑤スポーツコミッションによる伴走支援の仕組みづくり・充実化
全国規模の大会・イベント、スポーツ合宿誘致活動の強化	⑤市町や競技団体と連携した日本代表合宿の誘致や受入地域との交流促進 ⑤インバウンドが見込まれるスポーツ大会・イベントの開催を支援 ○全国規模のスポーツ大会やスポーツイベントの開催支援 など
イベント企画・広報などの伴走支援	⑤SNSなど用いた効果的な集客や企画立案に携わる専門人材の育成 ○スポーツコミッションの加盟団体と連携した企画や広報等の推進
ランナー満足度全国トップクラスの「ふくい桜マラソン」の開催	○ランナー満足度全国トップクラスの「ふくい桜マラソン」の開催 ○県内参加者の裾野拡大
FUKUIRAYSの活躍応援	⑤ホーム戦を盛り上げ、新規ファンの獲得など地域に愛されるチーム作りを応援 ⑤FUKUIRAYSの経営関係者や選手などを集めた合同研修会の開催 ⑤県外からの観客増を目的としたスポーツツーリズムの造成 など
トップアスリートを活用した交流推進	○スポーツイベントなどにトップアスリートを招へいし、県民向けのスポーツ教室を開催 ○トップパラアスリートによる交流の機会を提供し、障がい者やパラスポーツの理解を促進 など

基本方針 4

スポーツの魅力をもっと身近へ

～誰もがスポーツに参画できる「場づくり」の整備・充実～

基本施策	主な施策
スポーツを支える組織や体制の充実	⑤総合型地域スポーツクラブの育成支援 ○スポーツ少年団の育成支援 ○組織や団体の運営を支える人材の育成 など
スポーツ指導者の育成と質の向上	⑤公認スポーツ指導者資格の取得促進【再掲】 ○地域スポーツクラブ指導者向け研修会の開催 ○スポーツ指導者バンク登録者の資質向上とバンクの利用促進 など
スポーツボランティア活動の推進	○スポーツボランティア活動への参加促進 ○スポーツボランティア会員・募集团体会員の登録呼びかけ ○スポーツボランティアへの参加者向けに講習会の開催
デジタル技術を活用したスポーツ活動の推進	⑤ふくいはびコイン(デジタル地域通貨決済プラットフォーム)を活用した多様な参加機会の確保 ○スポーツ情報ポータルサイトの活用を進め、アクセスしやすい体制を構築 ○SNSを活用した情報発信 など
eスポーツの普及拡大	○障がいのあるなしに関わらず、誰もが一緒に楽しめるeスポーツの普及促進 ○高齢者や子どもなど年齢を越えたeスポーツイベントによる多世代交流機会の創出 ○プロ選手によるパフォーマンスなどを通じたeスポーツの魅力発信
スポーツ施設の長寿命化と利活用	⑤県有スポーツ施設にネーミングライツを導入し新たな財源を確保 ○県有スポーツ施設の適正な維持管理と利活用 ○民間整備の多目的アリーナ計画を支援し、スポーツを「する」「みる」環境を充実 など

施策目標 指標	R5年度 現状	R11年度 目標
県外からの誘致による全国規模の大会・イベント等の開催数	5件	累計 25件 (R7～R11)
ランニングポータルサイトによるふくい桜マラソン大会満足度 ※参加者7千人以上のフルマラソン大会	全国11位 (R7.2時点)	全国10位 以内を維持
「FUKUIRAYS」観客動員数 (ホームゲーム平均数の合計)	4,408人	7,500人

施策目標 指標	R5年度 現状	R11年度 目標
スポーツ指導者バンク登録者数	153人	500人
スポーツボランティアバンク登録者数	254人 (R7.2時点)	800人
スポーツを「する」「みる」ことが好きな人の割合 (スポーツに関する県民意識調査：福井県 ※無作為抽出)	86.6%	95.0%